

2018 年度におけるオリンピック・パラリンピック教育実践の取り組み：
早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターの
担当地域に着目して

A report about the practice of Olympic and Paralympic Education in 2018:
Focusing on the area in charge of WASEDA Research Center
for Olympic and Paralympic Education

友添秀則¹⁾, 深見英一郎¹⁾, 吉永武史¹⁾, 岡田悠佑¹⁾, 東海林沙貴²⁾, 竹村瑞穂³⁾,
根本想⁴⁾, 小野雄大¹⁾, 梶将徳¹⁾, 青木彩菜¹⁾, 安田純輝⁵⁾

¹⁾早稲田大学スポーツ科学学術院

²⁾吉川市立美南小学校

³⁾日本福祉大学スポーツ科学部

⁴⁾育英短期大学

⁵⁾早稲田大学スポーツ科学研究科

Hidenori Tomozoe¹⁾, Eiichiro Fukami¹⁾, Takeshi Yoshinaga¹⁾, Yusuke Okada¹⁾,
Saki Tohkairin²⁾, Mizuho Takemura³⁾, So Nemoto⁴⁾, Yuta Ono¹⁾, Masanori Kaji¹⁾
Ayana Aoki¹⁾, Jyunki Yasuda⁵⁾

¹⁾Faculty of Sport Sciences, Waseda University

²⁾Minami Elementary School, Yoshikawa city

³⁾Faculty of Sport Sciences, Nihon Fukushi University

⁴⁾Ikuei Junior College

⁵⁾Graduate School of Sport Sciences, Waseda University

キーワード:スポーツ庁, オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業,
オリンピック, パラリンピアン

Key words: JAPAN SPORTS AGENCY, Nationwide Olympic and Paralympic Movement Project,
Olympian, Paralympian

【抄 録】

本稿は、2018 年度のスポーツ庁が推進する「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」における早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター（WASEDA Research center for Olympic & Paralympic Education:以下、「早大オリ・パラセンター」）の担当するオリンピック・パラリンピック教育の推進地域である札幌市、岩手県、埼玉県、横浜市、岐阜県、静岡県、静岡市、滋賀県、広島県、香川県、熊本県の計 11 地域におけるオリンピック・パラリンピック教育実践の実態を明らかにすることである。

2018 年度は、小学校 124 校、中学校 48 校、高等学校 41 校、特別支援学校 17 校の計 230 校でオリ・パラ教育の実践が行われた。これらの実践を派遣オリンピック・パラリンピアン、テーマ設定、実践形式の 3 つの観点から分析し、以下の実態が明らかになった。まず、派遣オリンピック・パラリンピアン観点からは、「夏季オリンピック」の割合が減少した一方で、「冬季オリンピック」、「夏季パラリンピアン」、「冬季パラリンピアン」の割合が増加したことが明らかになった。さらに、校種別に派遣オリンピック・パラリンピアンを分類すると、小学校と高等学校では「オリンピック」の招聘の割合が、中学校では「パラリンピアン」の招聘の割合が、そして特別支援学校では「招聘なし」の割合が多いことが明らかになった。さらに、オリンピック・パラリンピアン以外にも、チームの招聘や多様な「支える人」の招聘が行われた。次に、テーマ設定の観点からは、「通じた」学びに関連した実践の割合の増加（特にテーマⅢ）とテーマⅡ、Ⅳの割

合が少なかったことが明らかになった。最後に、実践形式の観点から、小学校、中学校における様々な教科と関連付けた「通じた学び」の実践の割合の増加、高等学校、特別支援学校における「体育・保健体育」と関連付けた「通じた学び」の実践の割合の増加、そして中学校、高等学校では「特別活動」と関連付けた実践の割合が多かったことの3点を看取した。

最後に、今後の方向性として、オリ・パラ教育実践の新たな可能性を探究するとともに、より実現可能なオリ・パラ教育実践を探究していくこと及び、それぞれの取り組みの効果を比較検証し、よりよいオリ・パラ教育実践の方法を検討していくことを課題として指摘した。

スポーツ科学研究, 17, 14-27, 2020年, 受付日:2019年10月16日, 受理日:2020年4月15日

連絡先: 友添秀則 早稲田大学スポーツ科学学術院 tomozoe@waseda.jp